

地域・社会、環境への貢献

太陽生命厚生財団

太陽生命厚生財団は、1984年5月に、当社の創業90周年を記念して「太陽生命ひまわり厚生財団」として設立されました。2009年12月には公益財団法人に移行し、「公益財団法人太陽生命厚生財団」に名称変更しています。

当財団は、創設以来「高齢者の福祉」および「障がい者の福祉」に関する事業・研究への助成を行い、設立目的である「わが国の社会福祉の向上に寄与する」ための事業を続けています。設立以来の助成金累計は2,428件、13億5,321万円となっています。

太陽生命グッドウィル・サークル友の会

2005年12月に、役職員による社会貢献活動を支援することを目的として、「太陽生命グッドウィル・サークル友の会」を設立しました。毎月の報酬・給与の手取り金額の100円未満の端数を会費として、森林保全活動や各職場における地域密着型の社会貢献活動などを支援しています。

太陽生命の森林

東西2か所に「太陽生命の森林」を設置し、社員ボランティアが自らの手で森林保全活動を展開しています。

太陽生命の森林

(栃木県那須塩原市 2006年3月設置)

カラマツの人工林4.8ヘクタールにおいて、『いのち輝く明るい森林づくり』を活動テーマに掲げ、間伐、林道整備、憩いの広場整備などを実施しています。

社員ボランティアによる整備活動によって、手入れが行き届かず暗かったカラマツの人工林が太陽の光が射し込む明るい森林へと生まれ変わり、親しみやすい森林づくりが進んでいます。

2012年からは、公益財団法人日本ダウン症協会に所属されているご家族をお招きして「森林教室」を実施しています。



太陽生命くつきの森林

(滋賀県高島市 2007年11月設置)

旧里山林12.7ヘクタールにおいて、『恵み豊かな里山林づくり』を活動テーマに掲げ、アカマツ林の保全、広葉樹林の育成やピオトープ整備などを実施しています。むかし里山として人と密接なかかわりを持っていた森林の原風景を維持しながら、新しい形で人とかかわる森林づくりを進めています。

2011年からは、高島市立朽木東小学校と協働で「どんぐりプロジェクト」を実施しています。3年生がどんぐりをポットに植え付け、3年間育てた苗木を卒業時に森林に植える活動であり、ナラ枯れやシカの食害の影響を受けている広葉樹の森林の再生に取り組んでいます。



全国一斉クリーンキャンペーン

1982年より本社周辺の清掃活動を行っており、2004年からは「全国一斉クリーンキャンペーン」として、全国の支社周辺地域でも実施しています。

日頃お世話になっている地域の皆様に感謝の気持ちを込めて、清掃活動に取り組んでいます。

開発途上国への支援の実施

全国の支社・本社で古本、書き損じハガキ、楽器、ランドセル等を収集し、活動実施団体への寄贈を通じて開発途上国の教育支援等に役立てています。

公益財団法人ジョイセフが主催する「思い出のランドセルギフト」には2006年から賛同しており、2022年度は日本で役割を終えたランドセル57個を寄贈しました。



写真提供：©公益財団法人ジョイセフ

ライトダウンの実施

環境省が推進する「CO₂削減・ライトダウンキャンペーン」の趣旨に賛同し、2022年度は7月15日と12月23日の2回、グループ合同で実施しました。CO₂削減のみならず、現在推進しているスマートワーク実現に向けた取組みの一環として、18時までに業務を終了し、消灯のうえ全員が退社できるよう取り組みました。

子供地球基金への募金

子供地球基金とは、世界の恵まれない子どもたちが社会の一員として自分の能力を社会に還元することができるよう、想像力豊かな子どもたちを育てることを目的としたボランティア団体です。

当社はその趣旨に賛同し、子供地球基金への寄付活動を通して、病気や戦争、災害などで心に傷を負った世界中の子どもたちを支援しています。

